

令和7年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	■公募 □非公募		
料金制	□使用料 □利用料金 ■料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	19,175,000 円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造 2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、事務室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,691	15,398	14,870	13,961	12,782
	移動児童館利用者数	1,859	231	1,031	104	1,695
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※11(0)	※6(0)	※9(0)	※3(0)	※9(9)
	開館日数(単位:日)	149	144	147	143	148

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①岐阜市児童館条例施行規則第3条のとおり履行。開館時間は9:30～17:30までとしました。 ②所長及び常勤職員3人、(児童厚生員4人) ③児童用おたよりは毎月小学校に配布。幼児用おたよりは保健センター、公民館及びもえぎの里に掲示依頼。また、ホームページ、インスタグラム、子育て支援アプリを活用して、行事業内や活動内容等をタイムリーに情報発信しました。 ④ご意見箱の設置。苦情については、施設長を責任者として解決にあたるしくみ・申出先を館内掲示し、適切に対応できる体制をとりました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアル通りに実施しました。 ②職員による館内清掃は毎日実施。さらに週2回就労継続支援B型事業所による徹底した清掃を実施しました。その他業者によるカーペット、窓等の清掃を行い、快適な空間を保持しました。 ③使用していない部屋の消灯や、こまめなエアコンのオフを実践。さらに、窓の開閉による温度調整を行うなど、節エネ対策を講じました。また工作には廃材を利用し、環境に配慮した施設運営を心掛けました。 ④職員による施設の点検を実施し、不具合個所の早期発見につなげています。玩具は、片付けや消毒の際に点検して、職員による修繕が無理なものについては、おもちゃ病院に修理を依頼しています。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施	①②軽微で職員対応が可能なものは、即時対応。それ以外については、当法人事務局と相談し、業者へ修繕を依頼。ただし、玩具は

	②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	「おもちゃ病院」に修理を依頼しました。大規模で緊急性があるものについては、岐阜市に報告及び修繕要望をしています。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①②③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対応マニュアル、児童福祉法等関係法令等を遵守し、適切に実施しました。災害や事故などが発生した場合は岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。個人情報記載の用紙は、すべてシュレッダー処理を行うなど情報漏洩の防止を徹底しました。また、7月には、併設する高齢福祉センターと合同で消防訓練を実施しました。

●利用者評価

利用者アンケート の実施状況 及び実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート>									
	【期間】		令和7年 7 月 1 日 ~ 8 月 30 日							
	【回答者数】		100 人							
	【校区】		柳津: 36 人 鶉: 16 人 茜部: 12 人 三里: 5 人 厚見: 2 人 市橋: 2 人 且格: 2 人 その他市内: 5 人 その他市外: 20 人							
	【年齢】		10 代: 0% 20 代: 14% 30 代: 68% 40 代: 16% 50 代以上: 2%							
	【評価】									
	(あいさつ)		満足: 88%		ほぼ満足: 8%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(言葉づかい)		満足: 88%		ほぼ満足: 8%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(利用者対応)		満足: 84%		ほぼ満足: 12%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 2%	
	(利用しやすさ)		満足: 73%		ほぼ満足: 20%		普通: 6%		やや不満: 1% 不満: 0%	
	(整理整頓)		満足: 84%		ほぼ満足: 13%		普通: 3%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(清潔感)		満足: 76%		ほぼ満足: 18%		普通: 6%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(換気)		満足: 80%		ほぼ満足: 14%		普通: 6%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。									
	<小・中・高校生用アンケート>									
	【期間】		令和7年 7 月 19 日 ~ 8 月 30 日							
	【回答者数】		50 人							
	【学年】		小学: 1 年 6 人 2 年 4 人 3 年 6 人 4 年 0 人 5 年 8 人 6 年 14 人 中学: 1 年 8 人 2 年 0 人 3 年 0 人 高校: 1 年 1 人 2 年 0 人 3 年 0 人 無回答: 3 人							
	【学校名】		柳津小 39 人 境川中 8 人 その他市内 1 人 その他市外 2 人							
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。									
利用者からの 要望・苦情 と対応・改善	・年齢別のクラスがたくさんあったら嬉しいです。(0才のみ、1才のみ、2才のみ) →0才は「エンジェルタイム」1歳は「うさぎクラブ」2歳は「きりんクラブ」を開いています。ぜひご参加ください。 ・遊びスペースが1ヵ所は少ない。年齢ごとに分けて2、3ヶ所必要だと思う。 →遊ぶ場所が少なく申し訳ございません。幼児室だけでなく、図書室や遊戯室も利用可能です。幼児クラブや講座などがない日は、遊戯室もご利用ください。 ・トイレがきれいになるといいな。 →毎日トイレは清掃しております。汚れなどトイレで気になる点がございましたら、職員にお声掛けください。 ・新しいおもちゃ、すべり台。 →ご意見いただきありがとうございます、新しいおもちゃの購入を検討しますので、よろしければ遊びたいおもちゃを詳しく教えていただけたら嬉しいです。 ・幼児用の乗り物を廊下で遊んでもいい時間や場所がわかりにくいので施設内に明記していただけると嬉しいです。 →遊べる時間がわかりづらく申し訳ございません。幼児用の乗り物は小学生の利用がいない時は、ホールも使えます。館内にもわかりやすく掲示いたしますのでご確認ください。 ・難しいことはわかっていますが、あえていうなら駐車場がもう少しあると嬉しいです。 →駐車場に関していつもご不便をおかけしております。多くの方の利用のある行事の日は、児童館と高齢者福祉センターの活動日が重ならないよう対応させていただいております。児童館の駐車スペースがない際は、当施設職員にご相談いただければと思います。									

多くの利用がある行事の日は、柳津小学校のご厚意で駐車場を貸していただいております。ご利用の際は職員が案内いたしますので、お声掛けください。

・もっと先生と遊びたい。たくさん話したい

⇒ 私たちも皆さんと関われてとても楽しいです。話したいときはいつでも声をかけてくださいね。たくさんお話ししましょう。

・食べ物を食べれるようにしてほしい

⇒ 児童館は、赤ちゃんや小さい子も遊びに来ます。赤ちゃんが間違っって口に入れたり、アレルギーの子が食べてしまうといけないので、お菓子やジュースは食べられません。ご協力お願いします。

・マンガをたくさん入れてください。

⇒ 読みたい本やマンガがありましたら、職員に教えてください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価(柳津児童館)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	□業務改善や工夫(効果性③) ・「なつまつり」「ちびっこなつまつり」の実施(再掲③⑭) 小学生対象の「なつまつり」、未就園児対象の「ちびっこなつまつり」で、羽島北高校生、境川中学生、小学生にお手伝いをしてもらいました。「なつまつり」では、スタッフ会議での事前準備から当日のお手伝いまでを、ボランティアとして大いに盛り上げてくれました。「ちびっこなつまつり」では、幼児にやさしく声掛けをして、一緒に楽しんでいました。小学生にとっては、中学生や高校生のお兄さん、お姉さんと関わることが本当にうれしそうでした。 ・夏休み期間中のイベントを実施(再掲③⑥) 夏休み期間中は、午前中から小学生の利用が多くなるため、クレヨンアート、かざぐるま作り、スーパーボール作り、オイルウォーター作り等の工作や、ドッジボールや卓球チャレンジ等を数多く企画しました。こどもが気兼ねなく参加できるように当日に参加できるイベントも準備し、児童館に行ったら楽しめる環境を作りました。毎日といえるほど、児童館を利用する子もいました。 ・小学生と幼児とのふれあい 夏休み期間を活用して、0歳児クラブ「エンジェルタイム」やよみきかせの会に参加してもらい、幼児親子と交流しました。絵本の読み聞かせの練習をして、当日は緊張しながら、幼児親子のために絵本を読んでくれました。エンジェルタイムでは、一緒にハイハイをするなどして、小学生たちもやさしい眼差しで赤ちゃんとのふれあいができました。 ・自由参加の幼児クラブ「ひつじクラブ」の実施(再掲③④⑥) 自由に参加できる幼児クラブをやってほしいという母親からの強い要望に応える形で、事前申し込み不要で当日参加可能な幼児クラブ「ひつじクラブ」を実施しました。朝のこどもの体調や気分に合わせて自由に参加できるため、大変人気があります。 ・図書室に絵本コーナーを設置(再掲③⑤) 図書室に絵本コーナーを設置しました。利用する幼児が保護者の膝の上でじっくりと絵本が楽しめるようにしました。職員がおすすめする絵本を本棚の上に並べ、手に取って読みやすくなるよう配慮しました。幼児室のおもちゃで遊ぶ子が多い時は、図書室に移動して絵本を親子で楽しむ姿も見られました。 ・父親参加の講座「パパとあそぼう」の実施(再掲③⑥) 母親ばかりでなく、父親と一緒に児童館で遊んでもらおうとの思いから、隔月に一度、土曜日の午前に「パパとあそぼう」を昨年度から実施しています。今年度は父親がより子育てが楽しめるように親子で身体を動かす活動を実施しました。活動も浸透してきて、多くの参加者があり、父親と一緒に体操や玉入れ等を楽しんで遊びました。参加者からは、「子どもと楽しい時間が過ぎて良かった」「次回も楽しみにしています」と多くの声をいただきました。 ・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤) 市が購入した幼児向け絵本 20 冊のうち 10 冊を、毎月、事業団管理の 9 施設でローテーションしました。これにより、各施設で様々な絵本に触れる機会を提供することができました。 ・サイエンスショーの開催 元科学館長によるサイエンスショーを開催しました。空気砲や瞬間に色が変わる風船などを目見て、体験もさせてもらいました。不思議な体験ができ笑顔と驚きに包まれたサイエンスショーでした。 □新規事業(行事)等の実施(効果性③) ・よみきかせの会を定期開催(再掲③⑥) 絵本を親子で楽しめるよう、よみきかせの会を定期的に開催しました。他の児童館の休館する月曜日に開催することで、参加もしやすく、絵本を読むきっかけになっています。参加した親子はいつも笑顔をみせてよみきかせの会を楽しんでいます。 ・「児童館で水あそび」を開催 利用者からの要望もあり、幼児向けの水遊びを開催しました。参加する親子が安全に参加できるように屋根のある場所にプールを設置しました。ミストシャワーを設置し、涼しい環境で水遊びができるよう配慮しました。昨年度よりも多く水遊びを開催できました。保護者からは家ではなかなかできないし、友達と一緒に水遊びができる場があって嬉しいと非常に好評でした。 熱中症警戒アラートの指数が高い時は水遊びを中止しましたが、その代わりに館内で親子で楽しめる風船遊びを開催しました。 ・遊びに挑戦できる行事を開催 小学生の利用が増えていて、充実した遊びができるよう新たに「タグチャレンジ」という行事を企画しました。「ディアブロ」や「ダイススタッキング」などに挑戦し、できるようになった達成感で参加する児童は大喜びです。行事以外でも場面でも挑戦する児童が増えて、どんな技ができるかみんなで披露しあいました。 ◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。 ・小学生クラブ「あそび★クラブ」の実施 ・小学生対象のクラブ活動「あそび★クラブ」では、申込した小学生で話し合い、やってみたい遊びや工作を計画しました。縦割りグループでみんなが楽しめる遊びを考え、意見を出しあい決めました。高学年が低学年にやさしく遊びを教える姿が子どもの情操を豊かにする活動になりました。
--------------------------	---

	・小学生がボランティアに参加する機会を提供 ・柳津小学校で開催する夏チャレンジに参加した生徒に渡す参加賞を小学生の子どもたちと一緒に考えて製作しました。遊びにくる小学生に声をかけ、550 個分の「ふきゴマ」を作りました。たくさん作った達成感を感じ、イベント当日は自分たちで作ったこまを参加した小学生に披露していました。 ・なつまつりスタッフ会議において、出し物や役割等を自分たちで考えて準備してくれました。羽島北高校の生徒を中心に、境川中学、小学生が自分たちの意見を出し合い、少しでも楽しくなよう一生懸命話し合いました。当日もスタッフとして、積極的に盛り上げてくれて、大盛況でした。 ・夏休みに実施した幼児親子の活動の中で、小学生に入ってもらい絵本の読み聞かせやお手伝いをしてもらいました。最初は恥ずかしそうでしたが、読み聞かせも最後までやり切り、幼児と楽しそうにふれあっていました。 □配慮を必要とする子どもへ適切な対応(効果性④) ・不登校生への居場所の提供 境川中学から不登校生徒へ活動の場を提供できないかとの相談があり、空いている時間帯に、遊戯室を居場所として提供しました。学校には足が向かないが、児童館なら行けるという本人の要望に応える形となりました。当日は、相談員の方と来館し、バドミントンやドッジビー等で気分転換をしています。遊びだけでなく、相談員と一緒に勉強する姿もみられるようになってきました。 ・不登校児童等を支援する事業を開催 境川中学校の先生と協議して、様々な理由から学校へ登校しづらい、教室に居づらい等、通常の学校環境では生活しづらいと感じる子を対象とした出前授業(講座)の場所を提供しました。境川中学校の生徒だけでなく、近隣の3小学校の児童からも参加があり、体験活動ができました。 出前授業に参加したことがきっかけに不登校の小学生が保護者と一緒に来館して利用するようになりました。第3の居場所として機能するきっかけになりました。境川中学校の「校内フリースペース」に通う中学生が担当教員と一緒に来館するようになりました。児童館が過ごしやすい場所・居場所になるように、職員からも声掛けをしています。児童館が地域とつながりを感じられる場所になってきました。 ・来日したばかりの小学生児童の支援 6月頃から来日したばかりの小学生児童が児童館を利用するようになりました。児童館で日常の生活が楽しく過ごせるように他の児童の間に入り、関わっています。利用の際のルールがわからない時は、その都度職員で話し合い、児童の保護者や小学校・エール岐阜と密に連絡を取り、健やかに過ごせる環境になるよう関わっています。少しずつですが、みんなで楽しく過ごせるよう約束を守りながら利用できるようになってきました。 □移動児童館の実施(効果性⑤) 移動児童館を上半期は11回実施できました。(参加者合計1,152人) 前年度の活動を評価いただいたため、以前から依頼いただいている団体から開催回数を増やすことができました。(前年度より開催数2回増、利用人数約100人増) □職員研修の実施(再掲⑫⑬)(安定性・安全性⑬) ・スキルアップ研修会 児童館職員全体のスキルの向上を目的として、上半期は2回研修を行いました。 「こどもへの言葉のかけ方」(6/24 みわ)、おすすめのおもちゃ・ゲーム(7/9 うずら) ・虐待防止研修会(6/4) こどもの些細な変化に気づけるよう利用者との関わりを大切にすることを職員間で再確認しました。 ・熱中症対策研修会(6/5) 本格的な夏の前に、熱中症予防と対策について、保健センター職員による研修を実施しました。 ・一次救命講習会(6/12) 緊急時措置としての AED の使い方を、人形を使って体験しました。 ・新規採用者研修会(7/2) 児童館の役割と実態について学びました。 ・管理者研修(8月) 「ハラスメントに関する研修」を動画視聴により行い、管理者としての役割を再認識しました。 ・発達障がい理解と支援(9/25) 発達に課題がある児童へ適切な言葉かけ、対応の方法について学びました。 □地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭) ・学びの広場(学習支援) 地元ボランティアの方、羽島北高校の生徒にお願いし、春休みと夏休みに実施しました。高校生が宿題に悩んでいる小学生に積極的に声をかけ、見守ってくれることで、いつもより宿題が捗ったと参加した小学生が言っていました。嫌々やる勉強と違い、お兄さん・お姉さんと関わりながら楽しく勉強に取り組む姿がありました。 ・境川緑道公園どんと！こいこいまつり 2025(再掲⑭⑮) 昨年に引き続き参加し、幼児とその保護者、小学生を中心に、小さなこいのぼりを作ってもらいました。大変多くの人に楽しんでもらい、用意した材料が途中でなくなるほど大盛況でした。(参加人数:幼児 185 人、小学生 114 人、その他の児童6人、大人 269 人、ボランティア 9 人、合計 583 人) ・柳津小学校夏チャレンジ 2025(再掲⑭⑮) 昨年度に続けて、柳津小学校のこどもたちが遊びにチャレンジできるよう「エアカーリング」を出店しました。境川中学校の生徒を中心に小学生に遊び方を教えてもらいました。高得点が出た時は一緒に喜び、小学生は誇らしげな様子でした。 参加賞には児童館を利用する小学生と一緒に作った手作りコマをプレゼントしました。全校に児童館を知ってもらうきっかけになりました。 ・「なつまつりスタッフ会議」「なつまつり」「ちびっこなつまつり」(再掲③⑭)
--	---

	・柳津小学校運営委員会に出席 児童館のPRとともに他の委員との情報交換を行い、児童館への協力をお願いしました。 □地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮) ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 毎月1日の就業前に全職員で建物南側道路の清掃を行いました。 ・子ども110番の登録(再掲⑬⑮) ・境川緑道公園どんと！こいこいまつり2025(再掲⑭⑮) ・柳津小学校夏チャレンジ2025(再掲⑭⑮)
前回までの意見を踏まえた取組み状況	○父親が子育てしやすい環境になるよう取り組んでいる。 →昨年度始まった「パパとあそぼう」は、より父親が親子で活動が楽しめるよう身体を使った遊びをメインに計画いたしました。たくさん身体を動かす体操や玉入れなどのゲームあそびを取り入れ、親子で楽しんでもらいました。「パパとあそぼう」だけでなく、0歳児対象のエンジェルタイムでは父親がベビーマッサージを通してお子さんふれあう活動も行いました。少しずつですが普段も父親がこどもを連れて利用する方が以前より増えてきました。 ○中学校、高校の若い世代との交流に取り組んでいる。 →今年度も宿題サポートやなつまつりの準備などたくさんボランティアをしてもらいました。夏休みだけでなく、土曜日も来館する機会が増えたことで、小学生にとって児童館のお兄さんお姉さんのような存在になり、小学生にとって人にやさしく関わるお手本となる姿になってきました。 ○自由に参加でき子育てを楽しめる環境づくりに取り組んでいる。 →「ひつじクラブ」だけでなく、自由に参加できる「よみきかせの会」を今年度から始めました。親子で絵本を楽しむ機会が増え、絵本を楽しむ体験が増えました。今後も自由に参加できる行事を増やし、楽しんで子育てができる環境を整えていきます。 ○近隣小中学校と連携してこどもの居場所作りに取り組んでいる。 →中学校と協議し、不登校児童が家庭や学校以外で活動できる出前授業(講座)の場所として提供いたしました。出前授業をきっかけに参加した児童が、活動日以外で児童館を利用するきっかけとなっています。
今後の取組み	○今より親子で絵本を楽しんでもらえるよう新たに「おはなしの会」を実施いたします。 ○高齢者福祉センターを利用する老人クラブの方と共催で幼児親子対象の行事を計画し、三世代交流を開催いたします。 ○支援が必要とされる児童に対して保護者や学校・関係機関と連携し、利用児童が安心して利用できる居場所作りに取り組んでいきます。 また、事業団児童館長を中心に虐待防止委員会を組織し、研修・事例研究などを進めていきます。

●所管課の意見

○利用者からの要望により、幼児向けの水遊びを開催し、その際、屋根のある場所にプールを設置したり、ミストシャワーを設置するなど水遊びがしやすい環境に配慮した点が評価できる。 ○父親と一緒に児童館で遊んでもらうため、パパと遊ぼうを開催しているが、父親が参加しやすいよう一緒に体を使った活動とし、利用者増につなげている
--

●指定管理者評価委員会の意見

○父親が子育てしやすい環境になるように、子育ての楽しさというものを感じられるような活動を工夫して行っている点は評価できる。 ○中学校と連携して、不登校の生徒の居場所の提供に努めている点は評価できる。 ○高校生の学習ボランティアなど、地域と広く連携している点は評価できる。 ○その他、すべての評価項目が業務要求水準以上となっており、適正に管理運営が行われている。
--